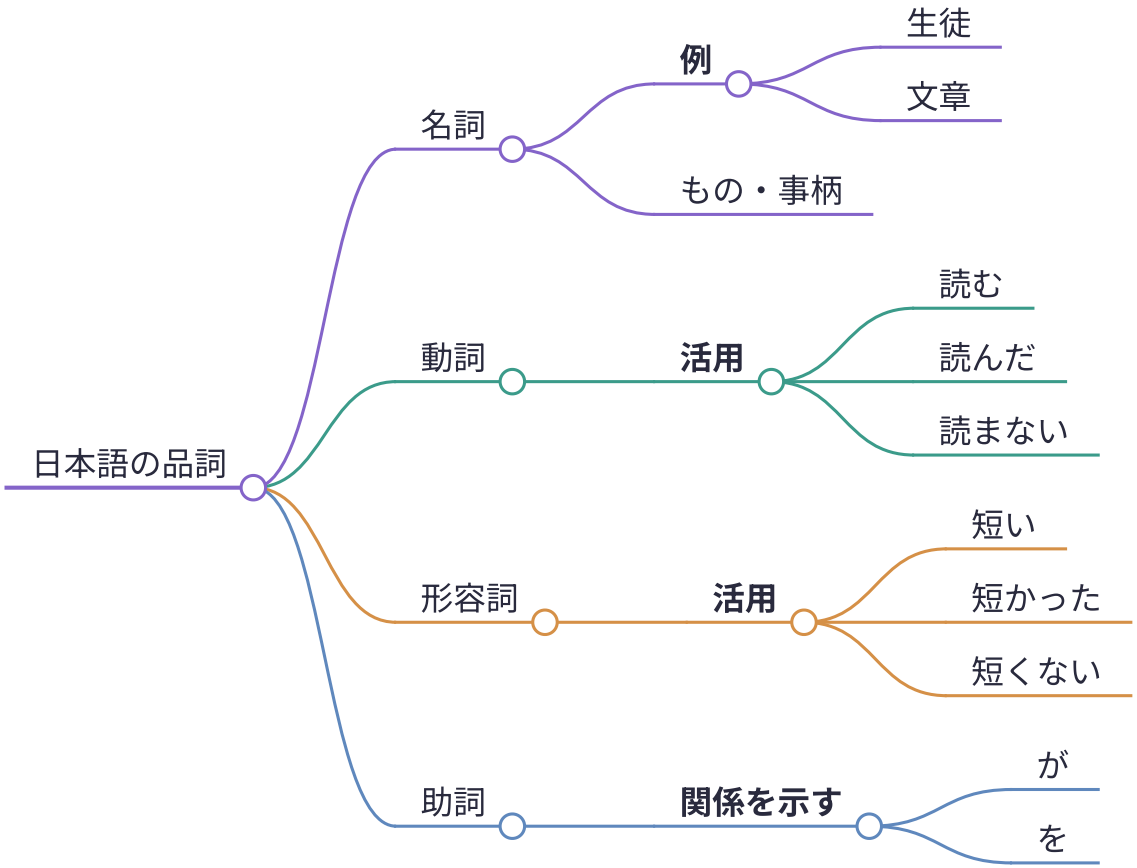
日本語の品詞

文中での働きと形の変化を調べます。



枝を一つずつ読み、細部を隠して自分の言葉で説明してみましょう。

内容を理解する

名詞はものや事柄を表し、動詞は動作や状態を表します。形容詞は性質や様子を表します。例えば読むは読んだ・読まないなどに変わり、短いは短かった・短くないなどに変わります。助詞は語と語の関係を示す重要な手掛かりです。品詞と主語・述語などの役割は区別します。

マップの構成

名詞、動詞、形容詞、助詞に例を結び付けます。すべての品詞を扱う一覧ではありません。

> **ここに注意**
> 主語は品詞名ではありません。また、意味だけでなく活用や文中での働きも見ます。

自分で考えてみよう

生徒が短い文章を読むという文で、名詞・形容詞・動詞・助詞を見つけましょう。

考えてみよう：二つの問い

文中の形容詞はどれですか？

短いは文章の性質を表し、形容詞として活用します。

品詞を調べる手掛かりは？

意味に加え、形の変化や使われ方を確かめます。

参考資料

東京外国語大学・助詞とは
https://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/ja/gmod/courses/c01/lesson14/step1/explanation/052.html

Studera.aiが作成した学習用の作例です。studera.ai/ja/gakushu-shiryo/mindmap-rei でマップを活用できます。